

叱り効果を100倍！ にする方法

そんなあなたに朗報です。うまくいく叱り方を、この章の終わりにお伝えします。「叱る」はうまく使うと、本当に効果的なんです。

ではその効果を100倍にするには？

・ 普段の叱りを減らし

・ いざというとき、心に届くように叱る

これです。叱ってはいけないのではなくて、叱っていい。ですが、毎回叱っていたら、効き目が薄くなります。便秘薬と同じです。雷も、たまに落ちるから怖いのです。

お母さんたちを見ていると、残念な叱り方をしている人がいます。

小さなものから大きなものまで、いっしょくたに叱る。

落書きと道路の飛び出しを、同じ強さで制止する。

そんな感じだからです。あなたにも覚えがありませんか？ 私にはあります。

命の危険を伴う飛び出しが、落書きと同レベルの「こらっ！」では芸がありません。ずつと小言を言い続けると、BGM化しますしね。

それより何より、怒ると気がおさまるところかエスカレートしてきませんか？

叱る・怒るがまずいんじゃないやなくて、感情的に怒り狂うのがまずいです。

なぜって？ おっかないでしょ、どう考えても。自分の倍近い大きさの生き物が、ギャオギャオ吠えてたら。ティラノサウルスがグー握って追いかけてきたら、私だってびびります。

叱るのだから相当エネルギーを消耗します。疲れます。なのに届かない水鉄砲を乱射したところで、その労力はお疲れ損になるだけ。そんなの、すこくもったいない。私たちが親はしっかりと、的を定めて命中させましょう。

